

ろばこん通信

114

白杵市長 中野 五郎

「ろばこん」とは
田舎裏端での懇談の略です



荒波に打ち勝つ「うすき丸」のクルーを育てる

私たちは今、時代の大きな曲がり角に立っています。しかも、視界は不透明です。「これからどうなる。これからどうする。」不安がつのり、危機感も漂っています。こういう時、必ず浮上するテーマが「教育改革」です。国や地方でも、支え、担い、創るのは結局人間だからです。人材育成は永遠の課題です。

国(中教審)では、「新しい時代の初等中等教育のあり方」が議論されています。先端技術(AI等)の進展や国際化に対応する改革を目指すとされています。世界に伍して競える人材育成がテーマです。

白杵の未来を創る

担い手像を検討

昨年10月、「白杵の未来を創る担い手像検討会議」を立ち上げました。20年後、人口減少が一段と進み、高齢者人口はピークを迎え、国力は衰退していく



ことが予測されています。この厳しい時代、どんな人たちに白杵を背負って立つてもらいたいのか。例えて言えば、暗雲が垂れ込め、荒波が襲うなか、我が「うすき丸」が難破せず航海を続け、目的地に無事たどり着けるクルーにはどんなパワーや資質が求められるのか。どんな人材(財)を育てていけばよいのか。

様々な分野で若手・中堅として活躍されている15名のメンバーに、熱心に話し合ってもらいました。最初に歴史を学び、困難な時代を切り拓いた先人たちが、努力を重ね、才能を開花させた人たちの足跡と偉業に学び、未来を担う人々が受け継ぐべきものを探りました。

幕末の藩財政再建の立役者、村瀬庄兵衛。灌漑用水の築造者、岩崎陣房。三菱財閥の大番頭、荏田平五郎。中央政界で活躍された山本達雄。早春賦の吉丸一昌。文化勲章受賞作家、野上弥生子等々の生きざまに啓発されたと思います。

「うすき丸5つの約束」

社会の動向や課題等について、6回にわたり検討を重ねた後、報告会で成果が発表されました。担い手が獲得してほしい価値観・手腕・機能を5つのスローガンとして表現しています。

【★うすき丸5つの約束★】

- 1 チャレンジシッ
自信を持って挑戦しよう
- 2 リレーションシッ
いろいろな人に出会って
感性を磨こう
- 3 フレンドシッ
たくさん話し合おう
- 4 フォロワーシッ
誰かのために全力を注ごう
- 5 パートナーシッ
力を合わせて成し遂げよう
遠くオランダを出港し、厳しい苦難を乗り越え、日蘭交流や近世外交の原点を切り開いたリーフデ号に重ね合わせ、白杵を担う人たちが遥かなる航海へ進んでいくような夢のある力強い表現に出来上がりました。(スローガンの詳細は、9ページをご覧ください)

幼年期から青壮年期まで、途切れず繋がる人づくり

白杵市では義務教育終了期に育みたい人間像を「15才の子どもの姿」として表現しています。「学ぶ力」「誠実さ」「たくましさ」を身につけた、白杵大好きな白杵っこを育てる。

平成30年3月には、乳幼児期の教育の方向性を示す「白杵っ



こ育ての羅針盤」を作成しました。幼保小連携協議会が熱心な検討を経てまとめあげたもので、「乳幼児期における子どもの姿」を「しらしんけん遊ぶ」白杵っこ「こころもからだもいきいき輝く真珠へ」と定めています。成長・発達段階をふまえて少年期までの連続した保育・教育目標や子育てのあり方を示しています。

幼少年期の望ましい子どもの姿と整合させ、一貫した育成環境を充実させていくことが私たちの責任です。

青壮年期に「5つの約束」を身につけた若者が多く育つていれば、「うすき丸」はたくましく航海を続行出来ると思います。